

「つくば市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中間見直しについて

1 経過概要

平成 27 年 10 月に、2060 年を見据えた将来人口の推計や、つくば市の将来の姿を描いた「つくば市人口ビジョン」と、その実現に向けた 5 年間の戦略である「つくば市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。平成 29 年度は平成 27～31 年度の中間に当たり、2 年間の実施期間を経て修正や入れ替え等を要する項目が生じています。そうしたことから、平成 29 年度に中間見直しとして部分改定を実施いたします。

2 見直し事項

つくば市まち・ひと・しごと創生総合戦略に記載された内容の内、以下の項目について見直しを行います。今回は中間見直しのため、基本目標や基本施策、個別施策等は修正を行いません。

(1) 重点事業・取組の追加・修正

平成 27 年度以降に取組が始まった事業等について、市長公約等に記載された事業等の追加・修正を行います。

(2) 数値目標・重要業績評価指標（KPI）の差替え・数値の修正

平成 28 年度時点で既に平成 31 年度の指標を達成している場合や、明らかに達成が難しい場合、平成 27 年度以降に当初設定した指標より適切な指標ができた場合等は指標そのものを見直しします。

3 見直しの流れ

各課等から提出された修正案について、まち・ひと・しごと創生本部幹事会において確認し、8 月 4 日（金）開催の有識者会議において内容を御審議いただいた上、8 月 22 日（火）開催の本部会議において確認いたします。

いただいた指摘等を受け、各課等で再度修正の上、9 月以降に再度幹事会、有識者会議、本部会議を開催し、秋季頃に見直し事項を確定する予定です。

(2) 商工業・サービス産業の育成	
現状と課題	つくば市では、商工会や産業支援機関、金融機関等と連携し、市内事業者の経営基盤の安定強化、技術力強化、さらには新規創業支援や企業誘致など、地域産業の強化・充実を推進しています。今後は、製造業の育成と誘致を引き続き図る一方で、市内の産業が持つ強みに重点をおいた施策展開が課題となっています。
施策の方向性	「つくば創業支援ネットワーク」を通じて、商工会や産業支援機関、金融機関等の各機関が連携し、オールつくばで創業支援を行います。 研究、ビジネス、アートなど様々な専門性をもつ人々を対象に、新たなものづくりのために創造性を発揮し、情報交換できる機会や市民発イノベーション創出の場として活用することに加え、研究開発から検証・社会実装までを一貫して行う場を提供するため、 <u>中心市街地等の空き店舗や学校等公共施設の跡地利用を検討する支援事業を行います。</u>
重要業績評価指標（KPI）	・平成 27 年度から平成 31 年度までの創業件数：180 件
重点事業・取組（◎：新規・拡充 ○：継続）	◎創業支援事業（再掲） 「つくば創業支援ネットワーク」を通じて、各機関が連携し、オールつくばで創業支援を行います。 ◎創業者定着支援事業 研究、ビジネス、アートなど様々な専門性をもつ人々を対象に、新たなものづくりのために創造性を発揮し、情報交換できる機会や市民発イノベーション創出の場として活用することに加え、研究開発から検証・社会実装までを一貫して行う場を提供するため、 <u>中心市街地等の空き店舗や学校等公共施設の跡地利用を検討する支援事業を行います。</u> ○つくば産業創出支援事業 産業及び雇用の創出を図るため、産業支援機関等との連携し、 <u>中小企業等への支援や企業誘致を推進します。</u>
関連する個別計画	・第 2 次つくば市産業振興マスタープラン ・つくば市創業支援事業計画

見直し事項




図 総合戦略の見直し事項の例